

・講演要旨

新潟駅周辺整備事業は、日本海側の拠点にふさわしい都市機能の強化に向けて、鉄道在来線の高架化や立体交差道路、駅前広場などの都市基盤をはじめとした総合的な整備を図るものであり、2006年度より整備を進めています。

新潟駅では、2018年に越後線側が一部高架化し、2か所の踏切が廃止され、2020年3月には高架下を横断する立体交差道路の一つである新潟鳥屋野線が完成しました。そして、2022年6月5日には在来線の全線が高架化されました。これらの整備の結果、鉄道を挟んだ南北市街地の一体化によるアクセス性の向上や交通の円滑化が図られ、より安全で快適な移動が確保されるようになりました。

このようななか、2023年度以降も鉄道とバスの乗り換え利便性の向上に資する駅直下バスターミナルや現在の約2倍の広さにリニューアル整備する新・万代広場の供用を予定しており、長い期間をかけて進めてきた新潟駅周辺の整備も大きく変貌を遂げる段階にきています。

今回の講演では、現在進めている新潟駅周辺整備事業の今までとこれからについて、映像なども織り込みながらご説明させていただきます。